



三木高大 自治会新聞

令和 7 年 5 月号 (No. 188)

発行 三木市高齢者大学学生自治会
発行責任者 自治会会長 田中 裕行
編集者 自治会新聞編集委員会
発行日 2025年(令和7)5月27日

<http://koureisyadaigaku.cccp.jp>

自治会会長挨拶

『自治会会長 就任にあたり』

4月の総会で自治会長に選任された、令和5年入学(34期)の田中裕行です。「学習」「健康」「交流」、本学に入学した目的は人によって様々ですが、人生の総仕上げの時期、さらに豊かな経験を積み、充実した日々を送るために入学された方ばかりだと思います。

1回、1回の講座学習をはじめ、クラスの親睦行事、クラブ活動。そして全学で取り組む、グラウンドゴルフ大会や大学祭など開催し、皆で思い出に残る日々を刻んでいきたいと思います。

全学の学生、学校当局の絶大な協力をよろしくお願いいたします。



学生自治会会長 3年3班 田中 裕行

高大に入学して

高齢者大学に申し込みいたしましたのは私の父親もお世話になっていたからです。

父は発表会の時間をいただき、その様子をビデオで残すため私と私の息子に録画をさせました。それは戦争体験の発表でした。

80代でいきいきとして、高齢者大学で楽しんでおりましたので私も引退後自身の体調とボランティア活動の関係に調整がつくようだったらと計画しておりました。

仕事を辞めてから4年地域のお仕事のほかボランティアばかりやっておりましたが、質的向上を目指し入学いたしました。

受験勉強用の勉強でなく基本からと夜間中学等々調べましたが近くになく、また大学の社会人用講座には心が動きませんでしたので、勉強は興味がある分野で読書中心に行うことにして、父親が楽しんだ高齢者大学の場を私も楽しませていただこうと入学をしました。

この先5年目には高齢者福祉施設への慰問に回りたいと考え大道芸を申し込みました。

一番には腹話術を、次にパントマイムを習得したいと思っています。大学のサークルに該当するものがあるのかわかりませんが「芸は身を助ける」との教えを実践したいと考えています。



1年2班 進藤 純

新入生を迎えて

「なぜ学ぶのか、それは・・・」

三木市高齢者大学長
井上 京子

「水上青々翠」水上に漂う草。どこにあってもその美しさは変わらず輝いている好季節です。入学式で、「みっきいシニアカレッジ」へ来られる皆さんは幸せだという話をしました。ある冊子に学びについて「なぜ学ぶのか、それは幸せになるため」と書かれていました。

- ・生活に役立つ知識を得、安心して生活できる幸せ
- ・心身を健康にでき健康で文化的な生活ができる幸せ
- ・努力が認められ自己実現できる幸せ

4年間、幅広くいろんな分野を主体的に学んでいただきたいと思います。

皆さんは、単なる受講生や、ましてやお客様ではありません。市当局・事務局・講師の先生方・先輩方が尽力され、発展させてきた「みっきいシニアカレッジ」の学生であり、その歴史を引き継ぐ主役の一人ひとりです。進んで学習に取り組み、各学年の運営に携わりましょう。学習の場としての秩序と環境を守り、共に学ぶ者同士の友情を育み、その輪を広げましょう。学生自治会活動やクラブ活動などに積極的に取り組みましょう。日々の様子や立ち居振る舞いは、地域の方や市民の皆さんから関心を持ってみられています。温かく見守って頂けるような大学でありたいと思います。

何をするにも健康あってのこと「健康で元気に学び」楽しい学生生活を送っていただき、もっと幸せになりましょう。



新教務主任の挨拶

三木市高齢者大学 教務主任
大西 真一

今年度より教務主任に就任いたしました、大西真一と申します。まだまだ不慣れですがどうぞ宜しくお願いいたします。

3月までは、別所町公民館で、まちづくり協議会事務局や高齢者教室の仕事を5年間してきました。また、三木市職員として、41年間勤務してきました。

年齢的には、昨年5月に65歳を迎え高齢者の仲間入りをしていますが、週末は三木山総合公園や三木防災公園でランニングに汗を流し、年に何回かはフルマラソン、ハーフマラソンに出走、完走しています。

現在、人生100年時代といわれていますが、健康寿命をどこまで伸ばすことができるかが、私たちの目標の1つではないかと思いますが、そのためにも、高齢者大学での人と人のつながり、支えあい、自分の好きなことを学ぶことで得られる喜びと生きがい大切にしていきたいと思えます。

高齢者大学の学生の皆さんと共に、楽しい高齢者大学をつくっていききたいと思えます。



新役員紹介

令和7年度 自治会総会の報告と新役員紹介

晴れやかな青空の広がる季節となりました。4月に45名の新入生を迎えることが出来、学生数が昨年度から約30名が増加し136名で新年度が始まりました。また、自治会総会が4月17日に開催されて各議事の審議があり、すべての議案が、承認されたことを報告致します。



会 長	田中 裕行		3年生	
統括総務	岩永 哲		3年生	
会 計	井上 政明		2年生 総務兼務	
監 事	長田 茂		3年生	
学 年	1年生	2年生	3年生	4年生
副会長	進藤 純	藤田 繁	安福 浩	松井 淳
総 務	光川 敏明	井上 政明	眞子 琢仁	尾上 勸

自治会の運営には会員の皆様からの声やニーズを把握し充実した学生生活を送って頂く様、役員会の役割を果たしていきたいと思ひます。ともに楽しい学生生活を送れるよう、ご協力を宜しくお願い致します。

自治会統括総務 3年1班 岩永 哲

民謡踊りクラブ紹介

「民謡踊りとの出逢いから」

リズムに乗って踊るのが大好きな私が69歳の頃、両足股関節軟骨のすり減りで杖なしでは歩けなくなりました。股関節をそれぞれ1年あけジョイント（接合箇所）をチタンに変える手術をして順調に回復した為、高大へ入学。

動ける間に踊りを再開したいとの思いから、民謡踊りクラブに入部し現在日舞も思いっきり踊っています。大学へも楽しく通えることができ、部員の皆と楽しく動き健康にもよいのではと日々若返っていると実感します。

民謡踊りとは（テンポの早い曲調で、かかとをつかず中腰の低い姿勢と手先、指先のしなり、キビキビと小気味良く、リズムカルに踊る）です。思いきり体も動かせる練習日が待ち遠しくなっています。大学際での発表会、ボランティアでの施設訪問、コミュニティーへの参加等は喜んで頂き練習の成果がわかる楽しい時間です。“民謡踊りクラブ”は、三木市の“金物祭り”では文化会館での大きなイベント発表もあるので、躍動感あふれる動きを講師の先生から習得し楽しいクラブ活動をしています。

皆様一緒に踊りましょう……！！

民謡踊りクラブ練習：第2・第4金曜日 13:00～15:00 市民活動センター



民謡踊りクラブ部長 4年3班 土佐 ふみ子

4月8日、研修旅行に立雲峡と神子畑選鉱場選鉱場の跡に行きました。車中でビンゴゲームを楽しみ、景品も外れ無しで、心も満たされました。立雲峡に着き、道が狭いためバスが入口まで行く事ができないので、1.2kmの坂道を健脚の人は歩いて、無理な人は堀内さんの車に乗せて頂き感謝でした。立雲峡から見える天空の城跡竹田城を見渡せる桜も満開!! 昼食は食べきれない程の食事を頂き、お腹も満たされました。

神子畑選鉱場選鉱場跡の資料館でビデオを見て、1円電車が走る神子畑選鉱場選鉱場は明延鉱山で採鉱された鉱石の選鉱場となり最盛期には3,000人が働いていたそうです。雨が降っていたのですがビデオを見終わった時、雨がやみ集合写真を撮り、ミツマタの花も桜も満開の道路を戻って来ました。

早いもので最終学年となり、この33期生は38人が現在は32人になりましたが、32人が一つになって、何事も一生懸命に楽しく学び、人生を謳歌している学年です。あと少し心残す事なく楽しい高大生活を送りたく思う今日この頃です。



立雲峡



1円電車

4年3班 山口 美知子

ひろば

「ラージボール～お花見～グラウンドゴルフ」

4月8日、4班の行事「お花見」のために吉川町の「北谷川桜堤」に出かけました。この日はお釈迦様の誕生日「花祭りの日」です。天候は快晴、気温は19℃で最高のお花見日和です。昨年秋の班行事「かやぶき屋根古民家巡り」も快晴。その時は約3kmの桜堤を見ながら、来春は満開の桜を見たいね!と話した願いが叶ったのです。

桜堤は、山に囲まれた盆地の中心を北谷川が流れ、両側の桜並木が見事に満開です。近くのかやぶき屋根古民家5戸が見え隠れする辺りは、のどかな田園と静かな自然がいっぱいの日本有数の村落です。

幹事さんに用意していただいた大きな卵焼きの入ったお弁当・桜餅・リンゴ・オレンジ・お菓子とノンアルコールをいただきながら、いつの間にか話題はグラウンドゴルフです。とてもグラウンドゴルフと歌が好きな人達です。グラウンドゴルフで交流のある1班の人々も合流して、たいへん賑やかなお花見になりました。

次は、「さあー次は防災公園へ!」桜花に未練を残しながら、また来年もお花見ができるかな?と思いつつ前向きに「よく学び、よく遊ぶ」元気いっぱいの子アカレツジの学生でした。午前中はラージボール～昼からお花見～最後にグラウンドゴルフと続き、さすがに疲れた人もいたようです。でも、とても楽しい1日でした。

2年4班 元山 千恵子

